

きぼうのいえ ニュースレター



2025 年 冬号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525

〒111-0022 東京都台東区清川 2 丁目 29 番 12 号

ホームページ：https://kibounoie.info/



クリスマスクリブ

理事長 下条 裕章

クリスマスの時期にキリスト教の教会をのぞいてみると、人形などを用いてキリスト誕生の様子を表した飾り クリスマスクリブが置かれていることがあります。家畜に餌を与えるために用いる飼い草桶を中心に、母マリアとヨセフ、羊飼いたち、羊やロバなどが並べられます。また外国人である三人の博士と、長旅を共にしたラクダが置かれることもあります。聖書の物語を再現して、クリスマスには真ん中の飼い草桶の中に小さな赤ん坊が寝かされています。

クリブの発端となったのは、アシジの聖フランシスという修道士が1223年のクリスマスに、飼い草桶や敷き藁、生きた雄牛やロバを集めて、礼拝が捧げられた出来事であったと伝えられています。その時の様子を模して、大小様々に、人形を用いてキリスト誕生の家畜小屋の風景が表現されるようになったようです。

そこに登場する人物は、豊かで穏やかに暮らすことができるひとではなく、立派で並外れた能力や力を持った人でもありません。家畜小屋に集まっていたのはみな貧しく、また困難な旅をしている人々でした。旅空に宿もなかった初産の母マリアと寄り添うヨセフ。飼い草桶に生まれたばかりのキリスト・イエス。自ら立つことも歩くこともできず、誰かの絶え間のないケアを必要とする赤ん坊のは儚さは命そのもののありさまを示しているといえるでしょう。その姿を見つめることを通して私たちの心に、愛情と信頼が必要とされていること、また生きることへの希望と勇気が示されたと感じているのは私だけでしょうか。

さらに、その出来事を最初に知ったのが「今日、あなたがこのために救い主がお生まれになった」と天使たちたに知らされ馳せ参じた貧しい羊飼いたち。寒さに震えながら夜通し羊の群れの番をしていた彼らは、天からの掛け声と赤ん坊を見つめる眼差しへの共感を通して、自分たちの存在の大切さを再発見。大きな喜びと生きる力を感じたのです。この世を動かしているように見える権力、経済力、名声とは関わりのない、世界の片隅で、困難と貧しさの中にあっても、今を生きようとする一つの儚い命を見つめることから、新しい世界を拓く活動が生まれ出たのでした。

きぼうのいえには、先の聖フランシスの「平和の祈り」が掲げられています。私たちもまた、日々一つひとつの命の輝きを見つめながら、愛情と信頼に満たされた世界を皆様と共に求めてゆきたいと願っています。



作・宮川洗二 [カメ型ロケット98号]



もしもしかめよはとぼっぼ～



お寺のやねからべんけいが～



うしわかめがけてへをたれた～

ア～コリャコリャ

来春98歳元気です！

やなぎだひさこ

ボランティアさん



中央が私です。

心優しいスタッフの皆様と一緒に
楽しい日々を送っています。

植田美津恵



僕は上持雄大です。

きぼうのいえに来るのがとても楽しみです。
缶バッジ作りの名人と言われています。
今後ともよろしくお願いします。

熊澤美華子と申します。

お茶出し、買い物、お出かけ、お掃除、
なんでもやりま～す (^^)



きぼうのいえ

クリスマスコンサート

2025年12月25日 (木)

13:30～14:30

会場：食堂



パストラルハープの演奏は大石千絵さんと野口房子さん。
脳梗塞後遺症で失語症のTさんは、感涙にむせていました。
至福の時間をありがとう。

みんな仲間

佐川 大樹

きぼうのいえは、以前の職場でお世話になっていた上司に紹介していただき、皆様とのご縁を繋ぐことができました。

仕事を始めた時は、入居者の皆様の生活スタイルに合わせたケアや決まり事などのあれこれを覚えるのに苦労しましたが（特にコーヒーに入れる砂糖の加減を掴むのに苦労しました）、今では仕事の合間に入居者の皆さんと他愛ない話をするのも楽しみの一つとなっています。

実際にきぼうのいえで働いてみて感じたことは、きぼうのいえは入所されている方の個性を大事にしているところがとても素敵だと思います。きぼうのいえでの暮らしに至る、それぞれの人生を尊重し、出来る限り、その人らしい生活を送れるよう、またこの場所で最期を迎える方にとっても、その人らしくあることができるようにスタッフの皆さんが一生懸命に考えてケアしているところは素敵ですし、私も大事にしていきたいと思っています。



ご機嫌なKさん

津田 光男

大好きな祖母を今年の2月に見送りました。

それからというもの「祖母のためにもっと何かできることがあったのでは？」と考えるようになりましたが、自分の納得する答えは出ず、モヤモヤした日々を過ごしておりました。そんな時に「きぼうのいえ」に出会いました。ボランティアとして参加したお茶会などを通じて入居者や職員の方々とお話しするにつれ、この仕事には私の求める「答えとやりがい」があると確信いたしました。

まだまだ未熟で学ぶことも多い23歳の若人ですが、私なりに利用者さんのために何ができるか、「ここで最後の時を迎えてよかったな」と思ってもらえるよう尽力してまいります。これからも宜しくお願い致します。



漫画の達人Mさん

佐々木 永真

私は、浄土宗の尼僧です。

数回のお茶会ボランティアを経て、今年の1月からスタッフのご縁をいただきました。勤務日はわずかですが、皆様の様々なご経験に耳を傾けるひときは、私にとってありがたい学びの時間です。星を見れば宇宙のお話をいただいた方を思い出し、干し柿を味わえば、大好物と仰った方の笑顔が浮かぶ。気づけば日々の暮らしの中に、皆さまの存在があります。

未熟者ですが、皆様と心を通わせながら、スタッフとして、一人の人間としても成長していけるよう精一杯努めてまいります。



最高の満足Oさん

田尻 真由美

前社を60歳定年退職し、令和7年6月よりお世話になっております。事務の田尻真由美と申します。

中央区生まれで、結婚してから荒川区に住んでおり、子供は4人で、女、男、女、男と上手に産み分けました。孫も4人います😊

小さい頃からスポーツが大好きで、スキー、スケート、水泳、テニス、ゴルフ。中学生からバレーボールに携わり高校、ママさんバレー、今では小学生に教えています。

荒川区のスポーツ推進委員として、現在ニュースポーツにも取り組んでおり、きぼうのいえの皆様とポッチャや、卓球バレー、風船バレーなど一緒に出来たら楽しいかなと思っています。よろしくお願い致します。



お茶会で
Yさん（左）Nさん（右）



40個のどら焼き

1月中旬、「もしもし亀有警察ですが…、Iさんという方をご存知ですか？」。
去年の暮、トイレで倒れて孤独死していたIさん。「つい先日、元気な彼に会ったばかりなのに」と呆然。Iさんは、8年前に大腸がんを患いながらも都営住宅に転居した方。きぼうの家では喧嘩早く、「お前はトイレトーパーを使いすぎだ！」と同居者を大声で威嚇。スツーフもヒヤヒヤ…、一時期行方不明になったけれど、「死にきれなかった」ときぼうのいえに帰宅。それがきっかけで「自立は如何？」と働きかけ、都営住宅に入居。その後生活保護を返上し、年金生活になりました。彼は、「皆に」と、大きな箱2つに入った40個のどら焼きを、年金が入るたびに持ってきてくれました。8年間。隔月にずっと…。身寄りがあったけれどご遺骨の引き取りはなく、今年の法要できぼうのいえのお墓に仲間入り。帰ってきたねIさん。きぼうのいえを大事にしてくれてありがとう。合掌。

現在、きぼうのいえでは延べ274人の方をお見送りしています。これもひとえに応援して下さる皆様のおかげです。天国にいる仲間と共に心から御礼申し上げます。

今後ともきぼうのいえの活動を応援して下さい。よろしくお願い致します。

きぼうのいえのお墓→



事務局 藤堂

きぼうのいえでは、私どもの活動にご賛同頂ける皆様方に、ご支援・ご寄付をお願いしています。

振り込み方法は ①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金 の3つがあります。

きぼうのいえの運営へのご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※ご送金にあたってのお願い : ご支援・ご寄付をくださった方々のお名前の公表の可否をお伝えください。

① 郵便振替の場合	② 銀行振込の場合(※1)	③ インターネット募金
郵便振替番号: 00190-6-388670 名義: きぼうのいえ後援会	ゆうちょ銀行 〇一九店 当座 口座番号: 388670 名義: キボウノイエコウエンカイ	ホームページからアクセスして、 カード決済することもできます。 http://kibounoie.info/

※1 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

寄附金受領証明書の発行について

きぼうのいえは認定NPO法人です。認定NPO法人に対するご寄付は、寄附金控除（税額控除）の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附金受領証明書は、ご寄付の都度発行させて頂いております。

寄附金受領証明書の再発行はできませんので、ご了承ください。

寄付担当より

たくさんのご寄付、本当に本当にありがとうございます。
ウィッシュリストも見ていて下さり、嬉しいです。
お一人お一人に直接の感謝をお伝えできず心苦しいですが
この場を借りて…声を大にして…
ありがとうございます!!!

